

CASBEE-新築(簡易版)2010年版

使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010

新日鉄エンジニアリング(株)北九州技術センターE館

欄に数値またはコメントを記入

評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								4.1
Q1 室内環境			0.40					3.9
1 音環境		4.2	0.15	-	-			4.2
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		5.0	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能	T-2	5.0	0.60	3.0	-			
2 界壁遮音性能	Dr-45	5.0	0.40	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	Lr-50	5.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	Lr-50	5.0	-	3.0	-			
1.3 吸音	壁:吸音壁、天井:岩面吸音板t15、床:タイルカーペット	5.0	0.20	3.0	-			
2 温熱環境		3.3	0.35	-	-			3.3
2.1 室温制御		3.6	0.50	-	-			
1 室温		3.0	0.38	3.0	-			
2 負荷変動・遅延制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能	SC0.39、U1.6	4.0	0.25	3.0	-			
4 ゾーン別制御性	1フロア8ゾーン個別制御 冷暖フリー	4.0	0.38	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境		4.0	0.25	-	-			4.0
3.1 昼光利用		5.0	0.30	-	-			
1 昼光率	昼光率2.5%	5.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備	太陽光追尾システム	5.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		4.0	0.30	-	-			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御	昼光センサーによる照明制御	4.0	1.00	3.0	-			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度	照度800Lx	4.0	0.15	3.0	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-			
4 空気環境		4.6	0.25	-	-			4.6
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	内装すべて	5.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		4.3	0.30	-	-			
1 換気量	1.5倍	5.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能	自然換気システム	5.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視	執務室にはCO ₂ センサー	5.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.9
1 機能性		3.9	0.40	-	-			3.9
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-			
1 広さ・収納性	9m以上	4.0	0.33	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-			
3 バリアフリー計画		1.0	0.33	-	-			
1.2 心理性・快適性		4.6	0.30	-	-			
1 広さ感・景観	天井高2.8m	4.0	0.33	3.0	-			
2 リフレッシュスペース	喫煙コーナー、執務室1%リフレッシュエリア、自動販売機	5.0	0.33	-	-			
3 内装計画	企業カラーをベースに、CGシミュレーション、モックアップ	5.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		5.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	外部開口部ユニットCWでシールなし、内部も清掃しやすい重視	5.0	0.50	-	-			
2 維持管理機能の確保	清掃員スペース、各種PS、EPS確保、維持管理マニュアル作成	5.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		4.0	0.31	-	-			4.0
2.1 耐震・免震		4.0	0.48	-	-			
1 耐震性	1.25倍	4.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能	アンボンドブレース制振材	4.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		4.2	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	等級2	4.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	30年	5.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	12年	4.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	90%以上にガルバリウム、スーパーダイマ材	5.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	上位3種に2種類B、E不使用	5.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性			4.0	0.19	-	-	
1	空調・換気設備	換気・空調系統分け、吊り配管	5.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	系統区分、節水型器具	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常発電機、地上設置	4.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法	耐震クラスA	4.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.7	0.29	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	4.2m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.2	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.7	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性	システム天井、空間ゆとり	4.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性	構造部材痛めず、更新可能	4.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性	システム天井、空間ゆとり	5.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性	システム天井、空間ゆとり	5.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	4.7
1	生物環境の保全と創出	既存樹木残し、既存池を保存再生	4.0	0.30	-	-	4.0
2	まちなみ・景観への配慮	シンプル形状、落ち着いた色彩、豊富な緑	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			5.0	0.30	-	-	5.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	保存再生した池の周辺にウッドデッキ、ベンチで憩いの場	5.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	透水性舗装材、多くの高木、ヒートアイランド防止	5.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	4.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			5.0	0.20	-	-	5.0
2.1	自然エネルギーの直接利用	104MJ/年㎡	5.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	500MJ/年㎡	5.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			5.0	0.30	-	-	5.0
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)		ERR=81.4%	5.0		-	-	
集合住宅の評価			3.0		-	-	
4 効率的運用			5.0	0.20	-	-	5.0
4.1	モニタリング	BEMSによるエネルギー管理、見える化	5.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	見える化と、省エネ委員会の定期開催	5.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	4.2
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水コマ	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.3	0.63	-	-	4.3
2.1	材料使用量の削減	コンクリートFc36、鉄骨F440	4.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉スラグ材、エコマーク建材	5.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメント、溶融炉スラグ再生材	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	躯体と内装材の容易な分別、ユニット製品の採用	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.22	-	-	4.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	接着剤、その他建材には、有害物質含まず	5.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-	
1	消火剤	フロン・ハロン不使用	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	低GWP断熱材	5.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	4.3
1 地球温暖化への配慮			4.8	0.33	-	-	4.8
2 地域環境への配慮			4.2	0.33	-	-	4.2
2.1	大気汚染防止	大気汚染源なし	5.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	卓越風考慮したビル配置、向き、浸透性材料による外部舗装	4.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	十分な駐車場、公共交通手段の利用	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミの分別回収、どこでもプリントによる無駄印刷の削減	5.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.9	0.33	-	-	3.9
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			5.0	0.40	-	-	
1	騒音	規制基準より大幅に低い	5.0	0.50	-	-	
2	振動	規制基準より大幅に低い	5.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	ブルー系のLED照明をタイマー制御	4.0	0.70	-	-	
2	曇光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	